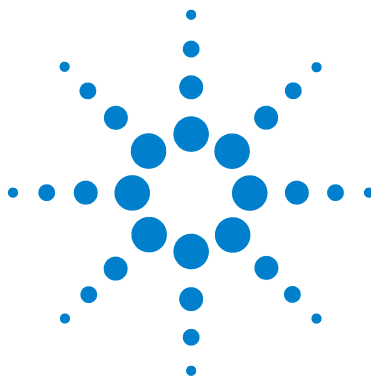




Agilent 7500 Series ICP-MS

**MassHunter Workstation
(G7200A)
インストールガイド**



Agilent Technologies

目次

1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

コンピュータの設定 1-3

Windows の設定 1-3

Windows Vista の設定 1-3

Windows XP の設定 1-12

MassHunter Workstation ソフトウェアインストールの流れ 1-20

Windows Installer 3.1 のインストール（Windows XP の場合） 1-21

Microsoft Office Excel 2007 のインストール 1-23

ユーザーアカウント制御の解除（Windows Vista） 1-23

Agilent IO Libraries Suite 15.0 の設定 1-26

Agilent BootP Service のインストール 1-32

プリンタの設定 1-40

FlashPlayer のインストール 1-41

MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール手順 1-43

工場出荷時のチューニングファイルに初期化 1-51

Microsoft Office Excel 2007 アドインの設定 1-53

Windows ファイアウォールの設定 1-59

はじめに 1-59

Windows ファイアウォール設定手順 1-60

Windows Vista の場合 1-60

Windows XP の場合 1-66

デモデータについて 1-72

読み取り専用属性の解除 1-72

Agilent 7500 Series MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール 1-73

目次

Windows Vista の場合	1-73
Windows XP の場合	1-75



1 MassHunter Workstation ソフト ウェアのインストール

コンピュータの設定	1-3
Windows の設定	1-3
MassHunter Workstation ソフトウェアインストールの流れ	1-20
Windows Installer 3.1 のインストール (Windows XP の場合)	1-21
Microsoft Office Excel 2007 のインストール	1-23
ユーザーアカウント制御の解除 (Windows Vista)	1-23
Agilent IO Libraries Suite 15.0 の設定	1-26
Agilent BootP Service のインストール	1-32
プリンタの設定	1-40
FlashPlayer のインストール	1-41
MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール手順	1-43
工場出荷時のチューニングファイルに初期化	1-51
Microsoft Office Excel 2007 アドインの設定	1-53
Windows ファイアウォールの設定	1-59
デモデータについて	1-72
Agilent 7500 Series MassHunter Workstation ソフトウェアのアンインストール	1-73

本書では、Windows XP へのインストールを基準に記載し、Vista については相違点について説明しています。
お持ちの MassHunter Workstation ソフトウェアが動作するオペレーティングシステムについては、インストールディスク内の「readme.txt」をご覧ください。



警告

コンピュータの電源コードを差し込む前に、コンピュータの電圧切替スイッチが正しく設定されていることを確認してください。

メモ

MassHunter Workstation のインストールを始める前に、装置が停止モードになっていることを確認します。装置がスタンバイモードである場合は、装置本体カバー裏側のシャットダウンスイッチを押して装置をシャットダウンモードにします。（シャットダウンモードになるまで5分程度かかります）シャットダウンモードになると本体前面のインジケーターが消えます。再インストール場合は MassHunter Workstation をアンインストールする前に、MassHunter Workstation より装置を停止モードにしてください。

これは、MassHunter Workstation のインストールを行った後で、ファームウェアのダウンロードをするために装置の電源をいったん切る必要があるためです。

注意

ここで示す設定手順は典型例で、コンピュータやプリンタの機種により異なります。また、設定内容や手順は予告なしに変更されることがあります。次に説明する手順で Windows を設定できない場合は、当社コールセンターにお問い合わせください。

Microsoft、Windows XP、Vista、.NET Framework、Microsoft Office Excel® 2007 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

コンピュータの設定

- 1 コンピュータの電源を ON にして、BIOS の設定を確認します。

次のように BIOS を設定します。設定が終了したら、保存して終了します。

- 電源管理の機能（Auto Suspend Timeout、Hard Drive Timeout、System Timeout、Modem Ring など）は [無効] にします。
- プラグアンドプレイ（Plug & Play）機能は [有効] にします。

メモ

コンピュータの種類によっては、上記の設定項目がすべて表示されるとは限りません。

メモ

BIOS の設定方法の詳細は、コンピュータに付属のマニュアルをご覧ください。

Windows の設定

メモ

MassHunter Workstation をインストールするパーティションは、NTFS である必要があります。

Windows Vista の設定

- 1 Windows Vista を起動します。

初めて Windows Vista を起動した場合には、次の手順に従って設定を行います。

- 1 [Windows セットアップ] 画面が表示されます。

ユーザー名を **Support**、パスワードは空白のままにして **次へ** をクリックください。

コンピュータ名を入力してくださいというメッセージが表示されたら、「ICPMS01」と入力してください。以降はセットアップの指示に従って選択してください。

1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

2 次の2つのユーザーを作成します。

User
Chemist

User、Chemist とも所属グループは **Administrator**（コンピュータの管理者）にしておきます。パスワードはあとで設定しますので、今は空白のままにしておきます。

2 [画面のプロパティ] の設定をします。

コントロールパネルの [デスクトップのカスタマイズ] の [テーマの変更] を選択します。

次のように設定します。

テーマ : **Windows Vista**

コントロールパネルの [デスクトップのカスタマイズ] の [スクリーンセーバの変更] を選択します。

次のように設定します。

スクリーンセーバ : なし

[電源設定の変更] - [プラン設定の変更] - [詳細な電源設定の変更] を選択して、次のように設定します。

ハードディスク - 次の時間が経過後ハードディスクの電源を切る : なし

ディスプレイ - 次の時間が経過後ディスプレイの電源を切る : なし

スリープ - 次の時間が経過後スリープする : なし

スリープ - 次の時間が経過後休止状態にする : なし

コントロールパネルの [デスクトップのカスタマイズ] の [画面の解像度の調整] を選択して次のように設定します。

色 : 中 (16 ビット)

解像度 : 1600x1200、または、1680x1050

[詳細設定] をクリックし、[モニタ] タブを選択して次のように設定します。

画面のリフレッシュレート : OS が表示する値でもっとも大きな値を選択します。

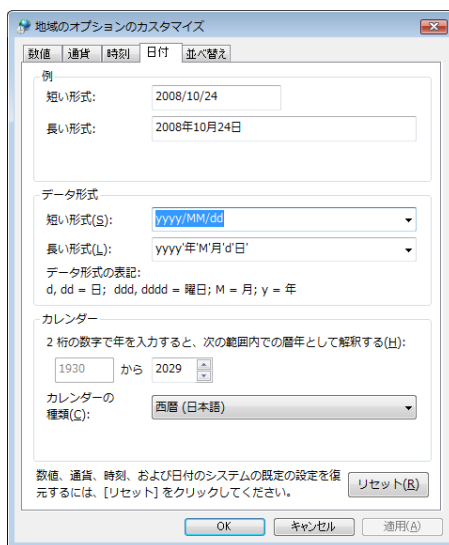
3 タスクバーの設定をします。

コントロールパネルの「タスクバーと「スタート」メニュー」を起動します。

[[「スタート」メニュー] タブを選択して、[[「スタート」メニュー] を選択して、「OK」をクリックします。

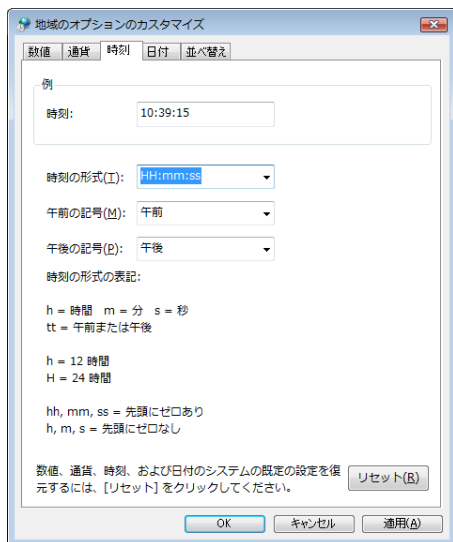
4 コントロールパネルから「時計、言語、および地域」 - 「日付、時計または数値の形式の変更」 - 「この形式のカスタマイズ」を選択します。

「日付」タブを選択し、「短い形式」を「yyyy/MM/dd」に設定します。

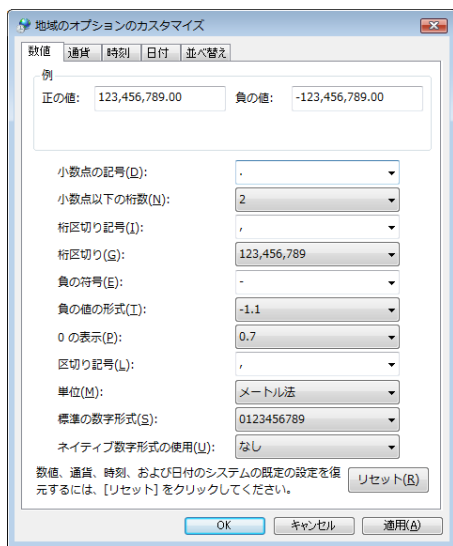


1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

「時刻」タブを選択し、「時刻の形式」を「HH:mm:ss」に設定します。



「数値」タブを選択し、「小数点の記号」を「. (ドット)」に設定します。



設定を終了したら **OK** をクリックします。

- 5 UserおよびChemistでもログオンし、それぞれ手順3から6までの設定を行ってください。

設定が終わったら、もう一度 Support でログオンします。

- 6 ネットワークの設定をします。

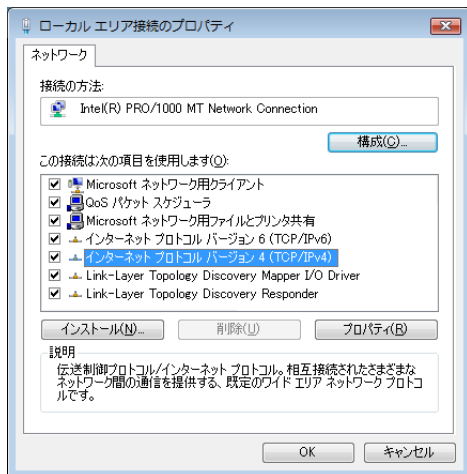
- 1 コントロールパネルの [ネットワークとインターネット] - [ネットワークの状態とタスクの表示] を選択します。
- 2 ローカルエリアネットワークの [状態の表示] を選択します。



1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

3 [プロパティ] を選択します。

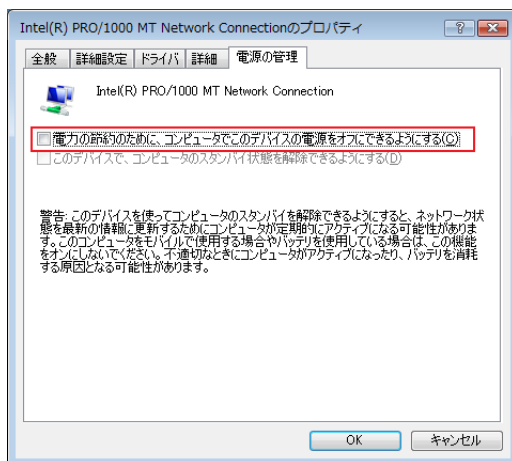
[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。



4 接続方法の [構成...] をクリックします。

5 [電源の管理] タブをクリックします。

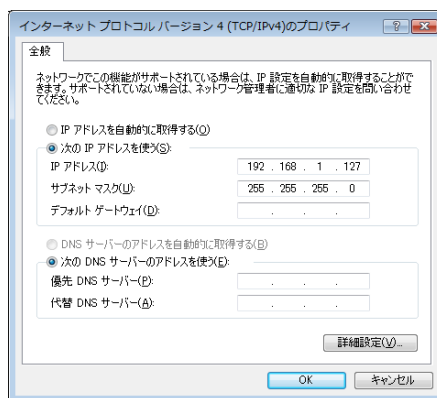
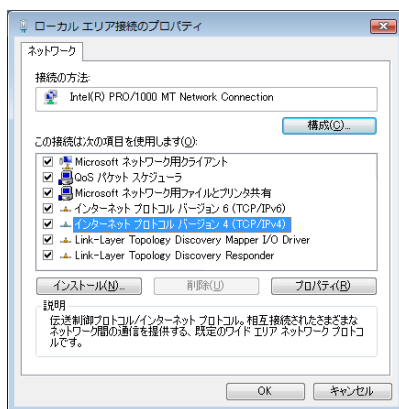
- 6 [電力の節約のために、このコンピュータでデバイスの電源をオフにできるようにする] のチェックをはずして、**OK** をクリックします。



- 7 ローカルエリア接続のプロパティ画面で、[インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- 8 [次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。デフォルトでは、以下の値を使用します。

IP アドレス 192.168.1.127

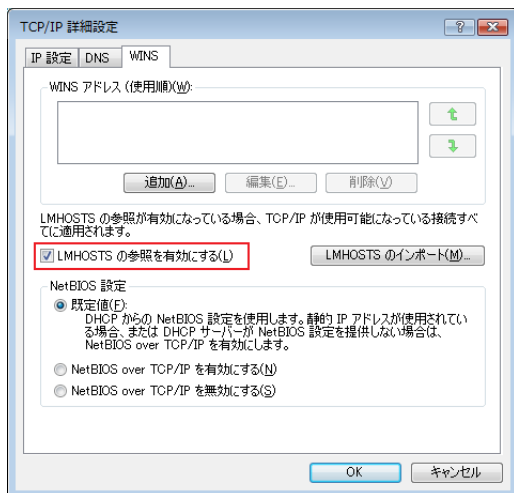
サブネットマスク 255.255.255.0



1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

- 9 「詳細設定」をクリックし、「TCP/IP 詳細設定」の「WINS」タブを選択します。

「LMHOSTS の参照を有効にする」がチェックされていることを確認します。チェックされていない場合は、チェックを ON にします。



- 10 設定を終了したら **OK** をクリックします。

メモ

MassHunter Workstation と Agilent 7500 ICP-MS を LAN で接続する場合には、Peer to Peer での接続を推奨します。この場合はクロスケーブルを使用します。

構内 LAN へ接続する場合にはお客様のネットワーク管理者とご相談ください。この場合、ホスト名・IP アドレス・サブネットマスクなどの設定値は、お客様のネットワーク管理者の指示に従ってください。構内 LAN に接続する方法については、Agilent 7500 Series ICP-MS MassHunter Workstation オペレーションマニュアルの「付録 E スイッチングハブの使用について」を参照してください。

ローカルユーザーの作成

注意

ここで示すローカルユーザーの設定は典型例です。設定内容や手順は、予告なしに変更されることがあります。

セキュリティを高めるために、パスワードを変更することをお勧めします。

カスタマエンジニア（CE）メンテナンス用ユーザーおよび MassHunter Workstation オペレータ用ユーザーを作成します。各ユーザー名、パスワード等の設定方法は共通です。各ユーザー名、パスワード等はユーザーごとに下記に示します。

ユーザー名	説明	パスワード	アカウントの種類
Support	Product Support	HPCE	Administrators
Chemist	ICP-MS Chemist	hp	Power Users
User	ICP-MS User		Users
Administrator	（変更しない）	3000hanover	Administrators

- 1 Support でログオンします。
- 2 [コントロールパネル] - [管理ツール] - [コンピュータの管理] を起動します。
- 3 [ローカルユーザーとグループ] の下の [ユーザー] を選択し、[コンピュータの管理] ダイアログボックスの右側にユーザー名が表示されるので、これを選択して右クリックし、[パスワードの設定] をクリックし、パスワードを設定します。
- 4 [コンピュータの管理] ダイアログボックスの右側に表示されるユーザー名を選択して右クリックし、[プロパティ] を選択して、説明を設定します。
- 5 [所属するグループ] のタブを選択し **追加** をクリックし、[詳細設定] --> [今すぐ検索] し、所属グループ名を選択して **OK** をクリックします。
- 6 設定したら [コンピュータの管理] を閉じます。

Windows XP の設定

1 Windows XP を起動します。

初めて Windows XP を起動した場合には、次の手順に従って設定を行います。

1 [Microsoft Windows へようこそ] のメッセージが表示されたら、指示に従い、地域、言語、キーボード、タイムゾーンを選択してください。

コンピュータに名前をつけてくださいというメッセージが表示されたら、「ICPMS01」と入力してください。

インターネットへの接続は省略を選択します。

ユーザー登録は「いいえ。今回はユーザー登録しません」を選択してください。

2 次の3つのユーザーを作成します。

Support

User

Chemist

Support、User、Chemist とも所属グループは Administrator（コンピュータの管理者）にしておきます。パスワードはあとで設定しますので、今は空白のままにしておきます。

3 [ログオンとログオフ] の設定をします。

コントロールパネルの [ユーザーアカウント] を起動します。

[ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する] を選択します。

[ようこそ画面を使用する] のチェックを外して、[オプションの適用] をクリックします。

4 ログオフし、Support でログオンします。

2 [画面のプロパティ] の設定をします。

コントロールパネルの [デスクトップの表示とテーマ] の [画面] を起動します。

[テーマ] タブを選択して、次のように設定します。

テーマ : Windows XP

[スクリーンセーバ] タブを選択して、次のように設定します。

スクリーンセーバ：なし

[電源] ボタンをクリックして、次のように設定します。

モニタの電源を切る：なし

ハードディスクの電源を切る：なし

システム スタンバイ：なし

システム休止状態：なし

[画面のプロパティ] の [設定] タブを選択して、次のように設定します。

画面の色：中 (16 ビット)

画面の領域：1600x1200、または、1680x1050

[詳細設定] をクリックし、[モニタ] タブを選択して次のように設定します。

画面のリフレッシュレート：OS が表示する値でもっとも大きな値を選択します。

3 タスクバーの設定をします。

コントロールパネルの [タスクバーと [スタート] メニュー] を起動します。

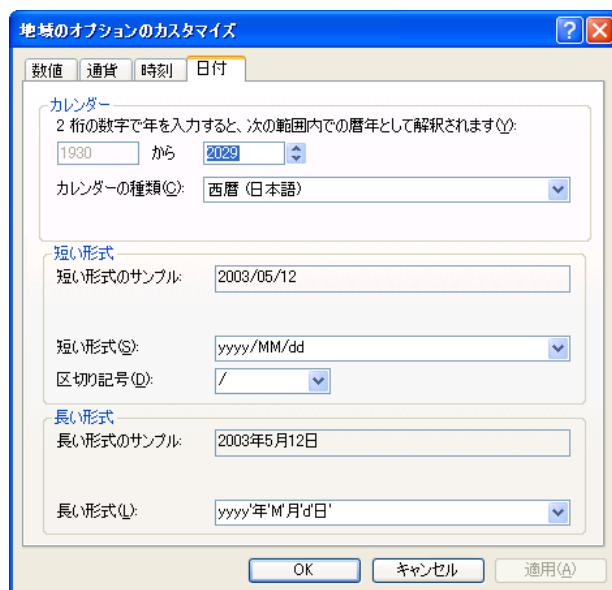
[[スタート] メニュー] タブを選択して、[[スタート] メニュー] を選択して、**OK** をクリックします。

4 日付／時間のフォーマットを設定します。

コントロールパネルの [日付、時刻、地域と言語のオプション] を起動し、
[地域と言語のオプション] を起動します。

[カスタマイズ] を選択します。

[日付] タブを選択し、[短い形式] を「yyyy/MM/dd」に設定します。



〔時刻〕 タブを選択し、〔時刻の形式〕 を「HH:mm:ss」に設定します。

地域のオプションのカスタマイズ

数値 通貨 時刻 日付

サンプル
サンプル: 09:37:13

時刻の形式(D): HH:mm:ss
区切り記号(S): :
午前の記号(M): 午前
午後の記号(P): 午後

時刻の形式の表記
h = 時間 m = 分 s = 秒 t = 午前または午後
h = 12 時間
H = 24 時間
hh, mm, ss = 先頭にゼロあり
h, m, s = 先頭にゼロなし

OK キャンセル 適用(A)

〔数値〕 タブを選択し、〔小数点の記号〕 を「. (ドット)」に設定します。

地域のオプションのカスタマイズ

数値 通貨 時刻 日付

サンプル
正の値: 123,456,789.00 負の値: -123,456,789.00

小数点の記号(D): .
小数点以下の桁数(I): 2
桁区切り記号(S): ,
桁区切り(D): 123,456,789
負の符号(E): -
負の値の形式(F): -1.1
0 の表示(O): 0.7
区切り記号(L): .
単位(M): メートル法
代替の数字形式(S): なし

OK キャンセル 適用(A)

設定を終了したら **OK** をクリックします。

1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

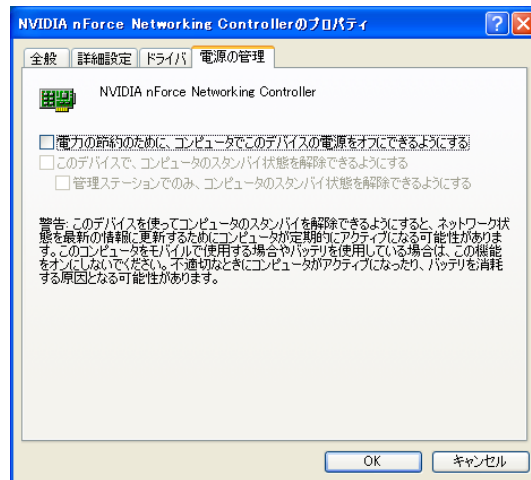
- 5 UserおよびChemistでもログオンし、それぞれ手順3から6までの設定を行ってください。

設定が終わったら、もう一度 Support でログオンします。

- 6 ネットワークの設定をします。

ここでは、MassHunter Workstation と Agilent 7500 ICP-MS を Peer to Peer で LAN 接続する場合の設定について説明します。

- 1 コントロールパネルの [ネットワーク接続] を起動します。
- 2 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。
- 3 接続方法の [構成 ...] をクリックします。
- 4 [電源の管理] タブをクリックします。
- 5 [電力の節約のために、このコンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする] のチェックをはずして、**OK** をクリックします。

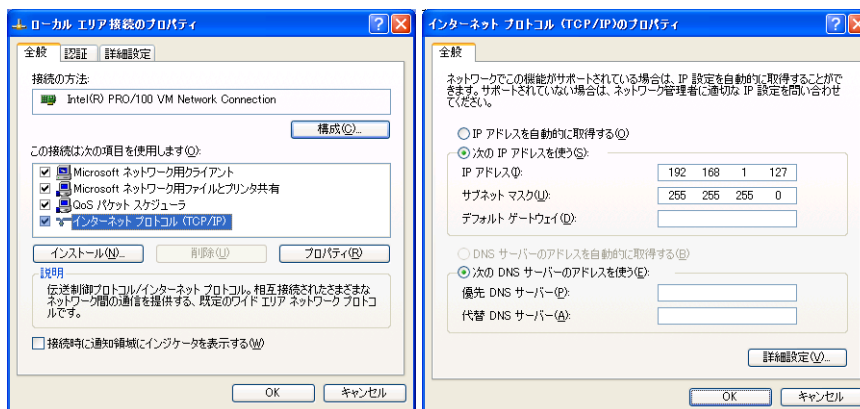


- 6 ローカルエリア接続のプロパティ画面で、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。

- 7 [次の IP アドレスを使う] を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。デフォルトでは、以下の値を使用します。

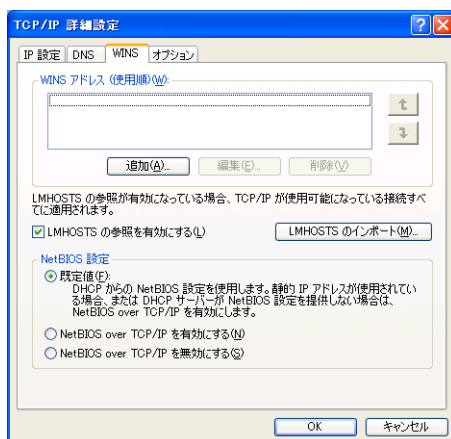
IP アドレス 192.168.1.127

サブネットマスク 255.255.255.0



- 8 [詳細設定] をクリックし、[TCP/IP 詳細設定] の [WINS] タブを選択します。

[LMHOSTS の参照を有効にする] がチェックされていることを確認します。チェックされていない場合は、チェックを ON にします。



9 設定を終了したら **OK** をクリックします。

メモ

MassHunter Workstation と Agilent 7500 ICP-MS を LAN で接続する場合には、Peer to Peer での接続を推奨します。この場合はクロスケーブルを使用します。

構内 LAN へ接続する場合にはお客様のネットワーク管理者とご相談ください。この場合、ホスト名・IP アドレス・サブネットマスクなどの設定値は、お客様のネットワーク管理者の指示に従ってください。構内 LAN に接続する方法については、Agilent 7500 Series ICP-MS MassHunter Workstation オペレーションマニュアルの「付録 E スイッチングハブの使用について」を参照してください。

ローカルユーザーの作成

注意

ここで示すローカルユーザーの設定は典型例です。設定内容や手順は、予告なしに変更されることがあります。
セキュリティを高めるために、パスワードを変更することをお勧めします。

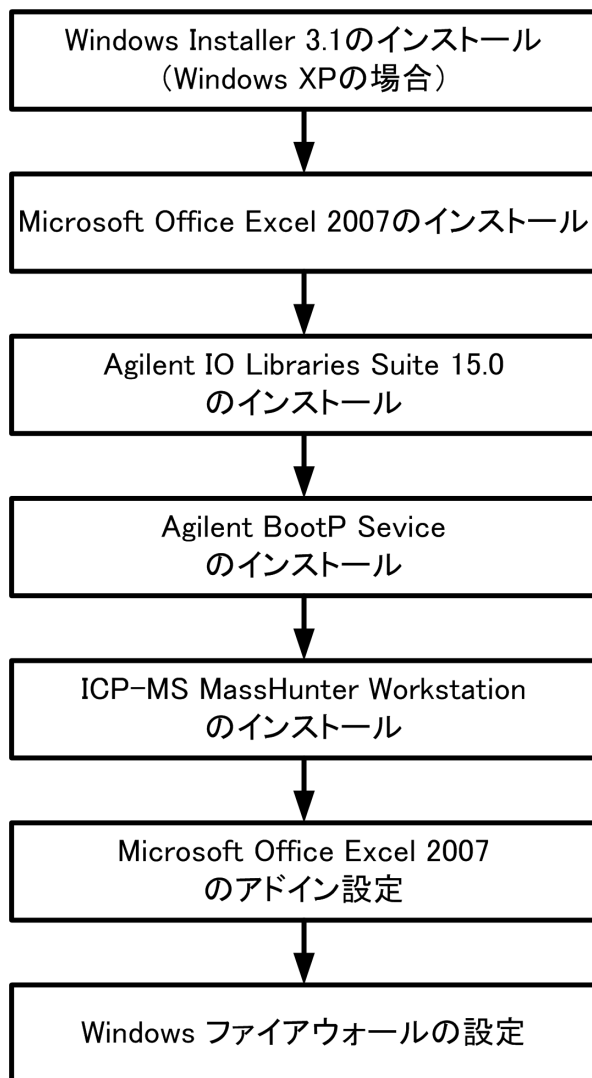
カスタマエンジニア（CE）メンテナンス用ユーザーおよび MassHunter Workstation オペレータ用ユーザーを作成します。各ユーザー名、パスワード等の設定方法は共通です。各ユーザー名、パスワード等はユーザーごとに下記に示します。

ユーザー名	説明	パスワード	パスワードのプロパティ	所属グループ
Support	Product Support	HPCE	[パスワードを無期限にする] チェックボックスのみを選択し、それ以外のチェックボックスは選択しない	Administrators
Chemist	ICP-MS Chemist	hp	[パスワードを無期限にする] チェックボックスのみを選択し、それ以外のチェックボックスは選択しない	Power Users
User	ICP-MS User		[パスワードを無期限にする] チェックボックスのみを選択し、それ以外のチェックボックスは選択しない	Users
Administrator	（変更しない）	3000hanover	[パスワードを無期限にする] チェックボックスのみを選択し、それ以外のチェックボックスは選択しない	Administrators

- 1 Support でログオンします。
- 2 [コントロールパネル] - [管理ツール] - [コンピュータの管理] を起動します。
- 3 [ローカルユーザーとグループ] の下の [ユーザー] を選択し、[コンピュータの管理] ダイアログボックスの右側にユーザー名が表示されるので、これを選択して右クリックし、[パスワードの設定] をクリックし、パスワードを設定します。
- 4 [コンピュータの管理] ダイアログボックスの右側に表示されるユーザー名を選択して右クリックし、[プロパティ] を選択して、説明を設定します。
- 5 [所属するグループ] のタブを選択し、追加をクリックし、[詳細設定] --> [今すぐ検索] し、所属グループ名を選択して OK をクリックします。
- 6 設定したら [コンピュータの管理] を閉じます。

MassHunter Workstation ソフトウェアインストールの流れ

MassHunter Workstation ソフトウェアのインストールの流れは以下の通りです。



Windows Installer 3.1 のインストール（Windows XP の場合）

PC 上にインストールされているオペレーティングシステムが Windows XP、Windows XP SP1、Windows XP SP2 の場合は、Windows Installer 3.1 がインストールされている必要があります。

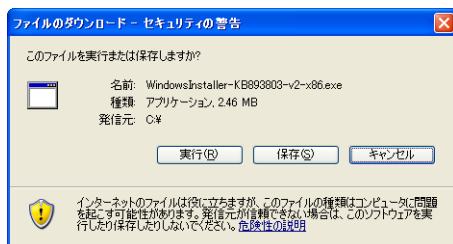
- 1 ICP-MS MassHunter Workstation システムディスクをオプティカルドライブに挿入します。

Internet Explorer が自動的に起動します。[Windows Installer 3.1 のインストール] をクリックします。



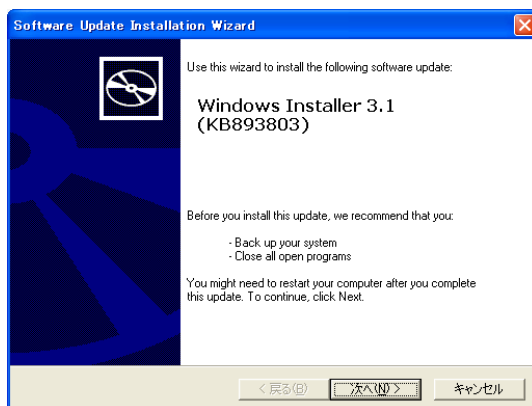
1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

2 **実行** をクリックします。



3 **次へ** をクリックします。

Windows Installer 3.1 がインストールされます。



Microsoft Office Excel 2007 のインストール

Microsoft Office Excel 2007 のインストール方法については Microsoft Office Excel 2007 に付属のマニュアルを参照してください。

メモ

Microsoft Office Excel 2007 のインストールは MassHunter Workstation のインストールより後でも問題ありません。

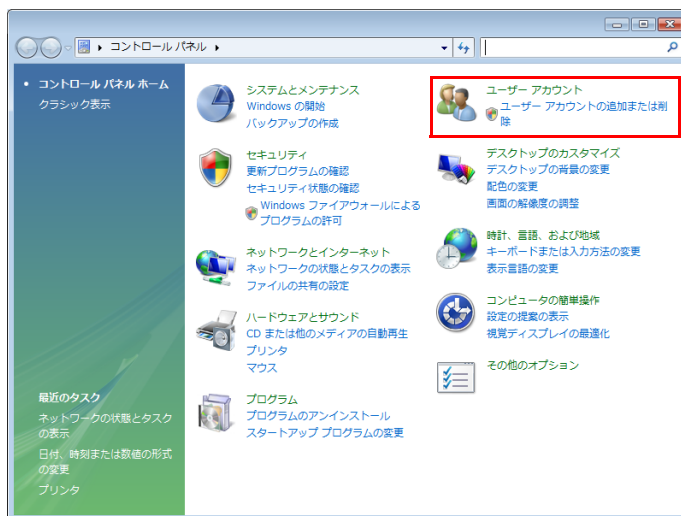
Microsoft Office Excel 2007 のインストール先は標準のまま変更しないでください。

Windows Vista をご利用の場合は、Microsoft Office Excel 2007 のインストールを行う前に、ユーザーアカウント制御を解除してください。

ユーザーアカウント制御の解除（Windows Vista）

Windows Vista のユーザーアカウント制御を解除するには、次の手順で行います。

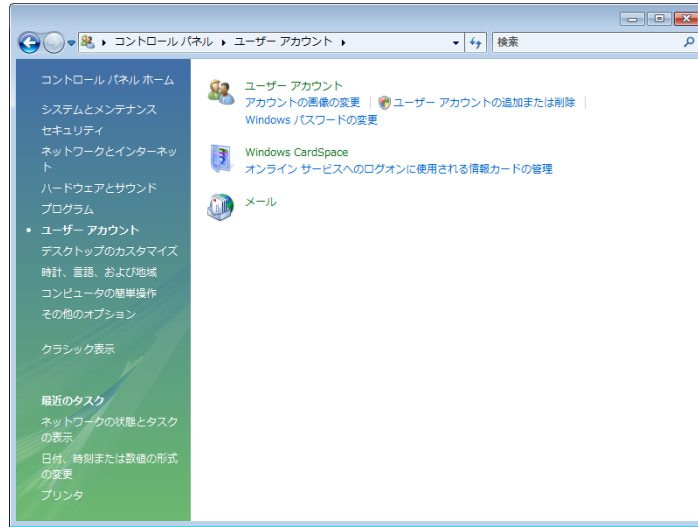
- 1 Administrator 権限のあるユーザーで Windows にログオンします。
- 2 [スタート] ボタンからコントロールパネルを開き、[ユーザー アカウント] をクリックします。



[ユーザー アカウント] ダイアログボックスが表示されます。

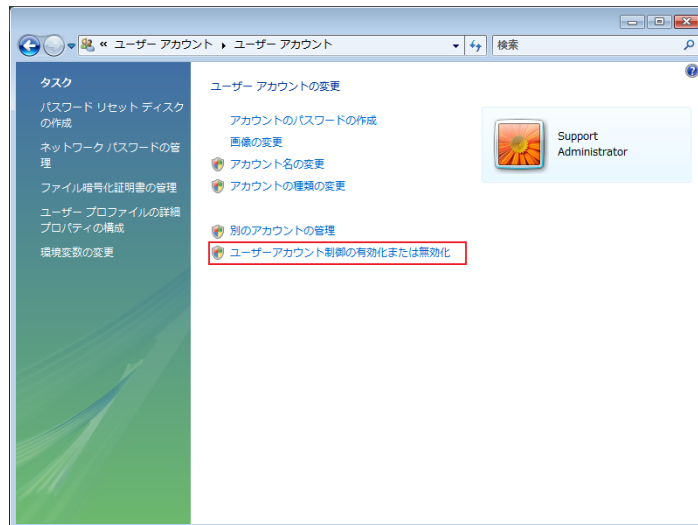
1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

3 [ユーザー アカウント] をクリックします。



[ユーザー アカウント] ダイアログボックスが表示されます。

4 [ユーザー アカウント制御の有効化または無効化] をクリックします。

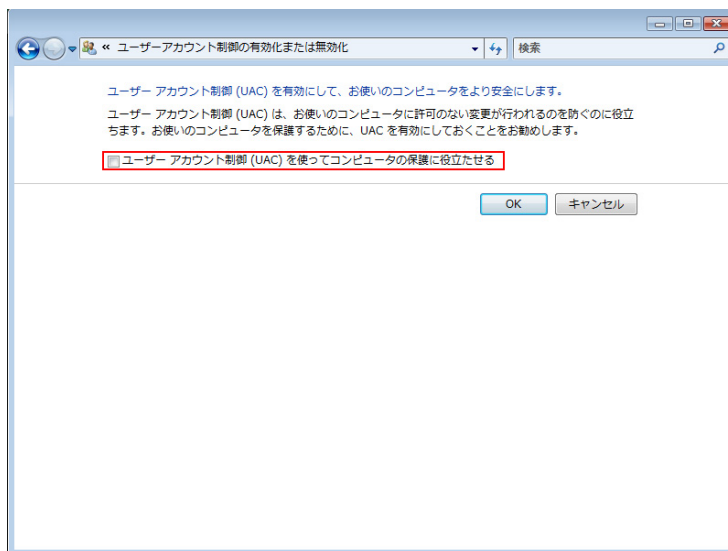


[ユーザー アカウント制御] ダイアログボックスが表示されます。

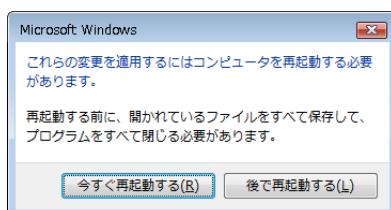
5 [続行] をクリックします。

[ユーザー アカウント制御の有効化または無効化] ダイアログボックスが表示されます。

6 [ユーザー アカウント制御 (UAC) を使ってコンピュータの保護に役立たせる] のチェックを外して、**OK** をクリックします。



7 [今すぐ再起動する] をクリックして、コンピュータを再起動します。



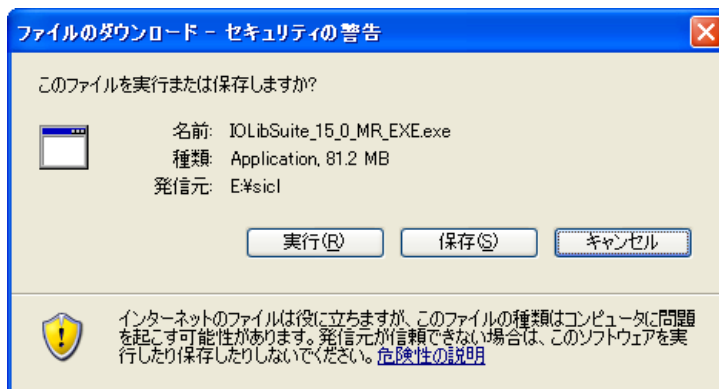
Agilent IO Libraries Suite 15.0 の設定

- 1 ICP-MS MassHunter Workstation システムディスクをオプティカルドライブに挿入します。

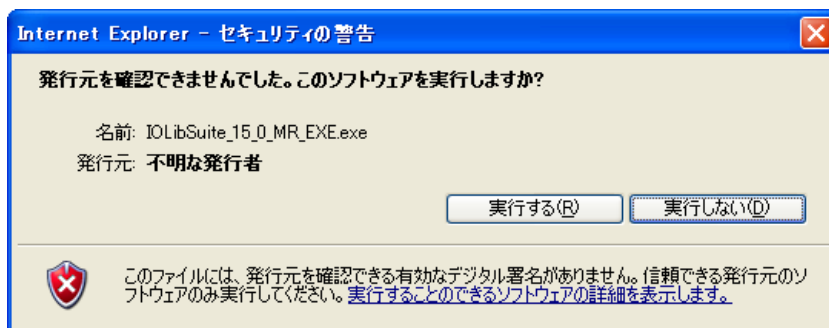
Internet Explorer が自動的に起動します。[Agilent IO Libraries Suite 15.0 インストール] をクリックします。



2 **実行**をクリックします。

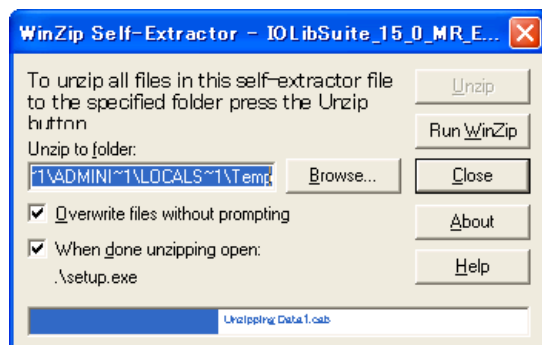


Windows ファイアウォールが有効になっている場合は「セキュリティの警告」ダイアログボックスが表示されます。**実行する**をクリックし、手順に従って先に進みます。



1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

- 3 [WinZip Self-Extractor] が表示され、自動的にファイルを解凍し、セットアップします。

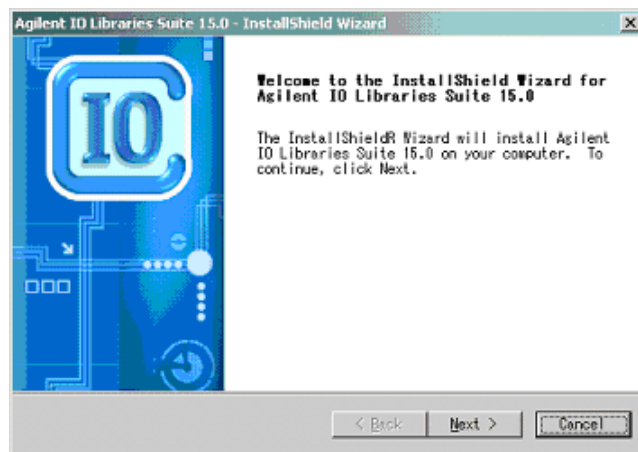


メモ

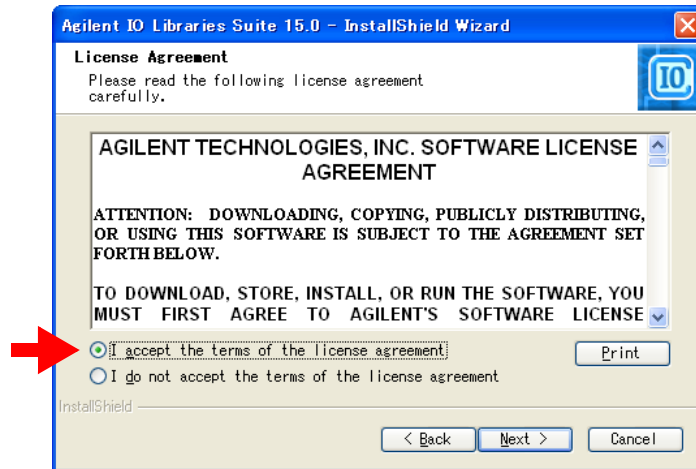
Microsoft Visual C++ 2005 Redistributable がインストールされていない場合、ここでインストーラが起動します。指示に従ってインストールしてください。

Microsoft .Net Framework 2.0 がインストールされていない場合、ここでインストーラが起動します。指示に従ってインストールしてください。

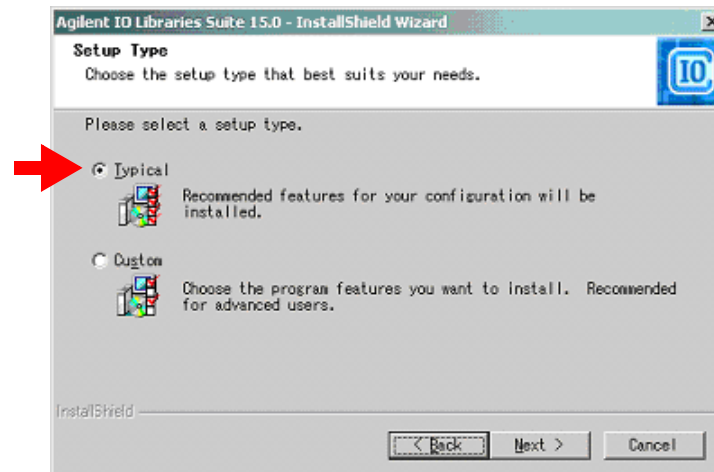
- 4 自動的に [InstallShield Wizard] が表示されます。**Next** をクリックし、手順に従って先に進みます。



- 5 [License Agreement] が表示されるので、I accept…にチェックを入れ、**Next** をクリックします。

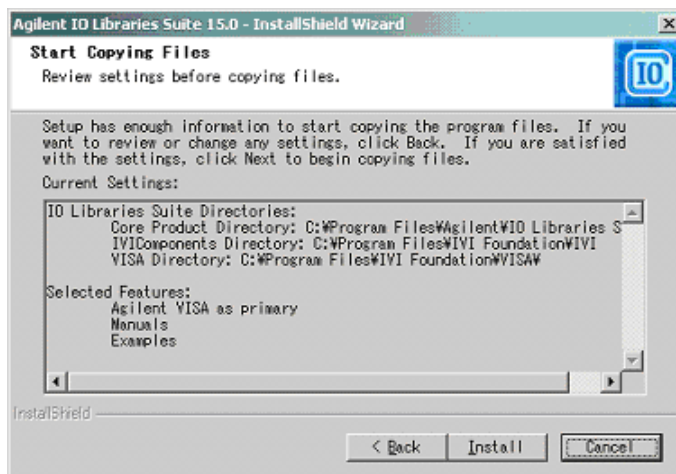


- 6 [Setup Type] が表示されるので、Typical にチェックを入れ、**Next** をクリックします。



1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

- 7 [Start Copying Files] が表示されるので、**Install** をクリックします。



- 8 インストールが開始され、インストール中の画面が表示されます。インストールが終了するまでお待ちください。
- 9 インストールが終了すると、[Agilent IO Libraries Suite 15.0] が表示されます。**Finish** をクリックします。



10 タスクトレイに Agilent IO コントロールのアイコンが追加されます。



Agilent IO コントロールアイコン

11 Agilent IO Libraries Suite 15.0 の設定が終了しました。

メモ

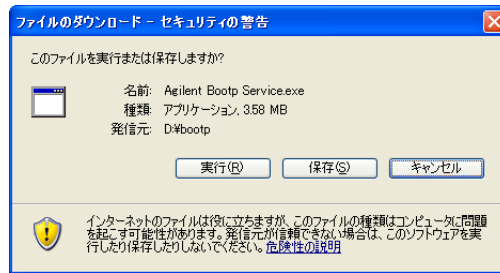
手順 2以降で、Internet Explorer 動作中のためファイルのインストールができないことを知らせるダイアログボックスが表示された場合は、Internet Explorer を一旦終了してから、ダイアログボックス内の[Retry]ボタンをクリックします。IO Libraries のインストールが完了した後、マイコンピュータからオプティカルドライブをダブルクリックするか、CD ドライブを開いて index.html ファイルをダブルクリックして再度 Internet Explorer を起動させインストールを続行してください。

Agilent BootP Service のインストール

1 [Agilent BootP Service インストール] をクリックします。



2 **開く** をクリックします。

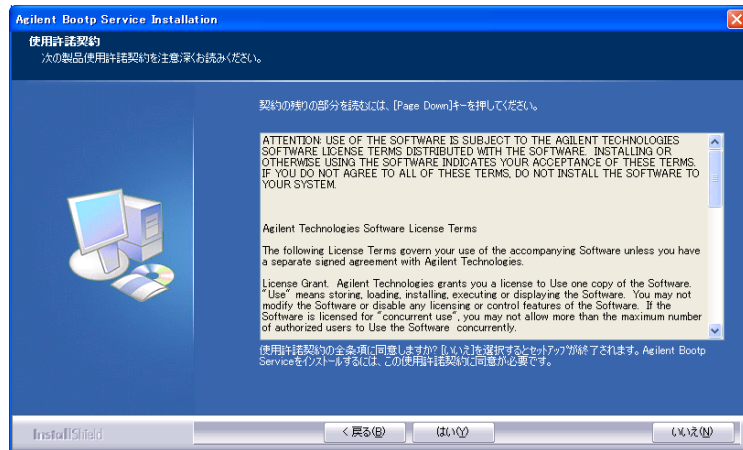
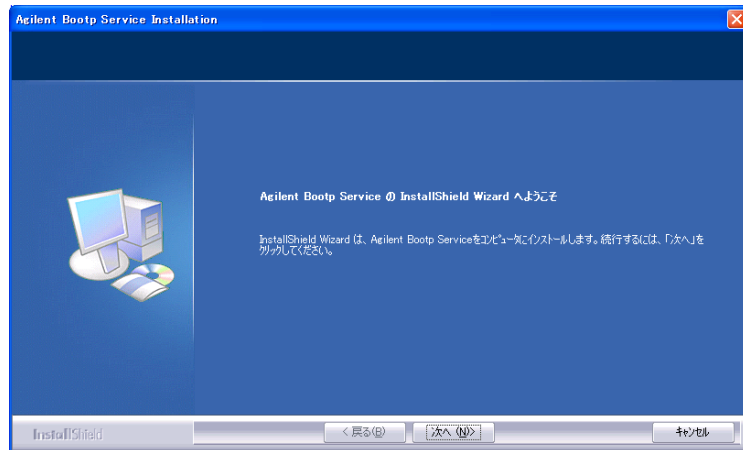


Windows Firewall が有効になっている場合は、[セキュリティの警告] ダイアログが表示されます。実行するをクリックし、手順に従って先に進みます。



1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

- 3 次のダイアログボックスが表示されたら、**次へ**をクリックし、手順に従って先に進みます。



- 4 BootP Service ソフトウェアの設定画面が起動します。
- 5 [BootP タブファイルを管理しますか?] を選択し、サブネットマスクの値を入力して、[起動マネージャ] をクリックします。

サブネットマスク: 255.255.255.0

1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

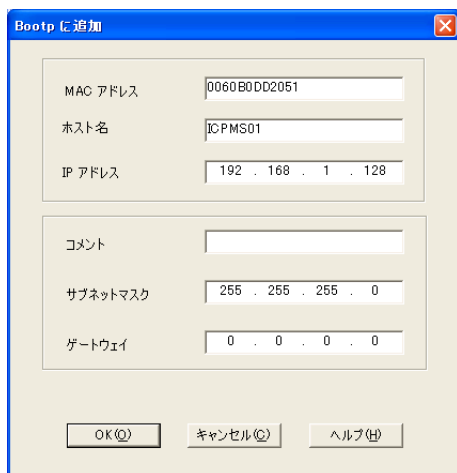
7 パラメータを次のように設定します。

MAC アドレス : Agilent 7500 の MAC アドレスを入力する
MAC アドレスを知る方法は次の手順をご覧ください。

ホスト名 : 任意の文字列を入力する
(ただし PC のホスト名と異なるもの)

IP アドレス : 192.168.1.128

サブネットマスク : 255.255.255.0



The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "Bootp に追加". It has a blue title bar with a close button. The main area is divided into two sections. The top section contains three input fields: "MAC アドレス" with the value "0060B0DD2051", "ホスト名" with the value "ICPMS01", and "IP アドレス" with the value "192 . 168 . 1 . 128". The bottom section contains three input fields: "コメント" (empty), "サブネットマスク" with the value "255 . 255 . 255 . 0", and "ゲートウェイ" with the value "0 . 0 . 0 . 0". At the bottom of the dialog are three buttons: "OK(O)", "キャンセル(C)", and "ヘルプ(H)".

メモ

ここで設定する IP アドレスは、ICP-MS コンフィグレーションで設定する値と同じ値にします。

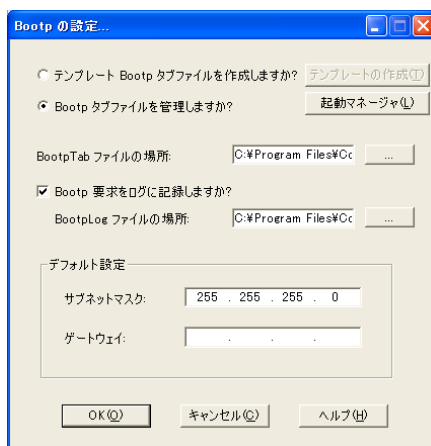
メモ

ホスト名も必ず入力しなくてははいけません。次のルールにしたがって入力します。

- ホスト名はアルファベットの太文字と小文字、数字、ハイフンだけで、それ以外の文字は使えない。
- 名前の先頭、末尾にハイフンは使えない。
- 先頭に数字を使うことはできるが、名前に 1 文字以上のアルファベットが含まなければならない。

8 次の手順で Agilent 7500 の MAC アドレスの値を取得して、上記の設定画面に入力します。

- 1 [BootP タブファイルを管理しますか?] を選択していることを確認します。
- 2 [BootP 要求をログに記録しますか?] のチェックを ON にします。
BootPLog ファイルの場所はデフォルトのままにしておきます。
- 3 [サブネットマスク] を 255.255.255.0 に設定していることを確認します。



- 4 **OK** をクリックします。
- 5 コンピュータを再起動します。

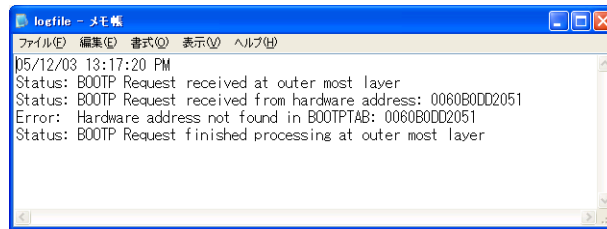
メモ

コンピュータと ICP-MS を構内 LAN へ接続している場合は、他の装置の MAC アドレスを誤って取得するのを防ぐため、構内 LAN とつながっているケーブルを外します。

- 6 Support のユーザー名でログオンします。
- 7 Agilent 7500 の電源を一旦 OFF にして、もう一度 ON にします。
- 8 Windows の [スタート] ボタンを右クリックして、[エクスプローラ] を起動させます。

1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

- 9 エクスプローラで、*C:\ProgramFiles\CommonFiles\AgilentShared\BootP\bin\logfile* を選択します。右クリックで [開く] を選択し、[一覧からプログラムを選択] 画面で [NotePad] を選択して **OK** をクリックします。このとき、NotePad（メモ帳）で、「Hardware Address」に続いて書かれている文字列（「0060B0D」もしくは「0030D3」で始まる文字列）が Agilent 7500 ICP-MS の MAC アドレスです。



- 10 タスクバーから [スタート] - [すべてのプログラム] - [Agilent BootP Service] - [Edit BootP Settings] を選択し、[起動マネージャ] をクリックして、[BootP に追加] ダイアログボックスを表示させます。[追加] をクリックして、上記の Logfile に表示された MAC アドレスをコピー & ペーストします。ホスト名、IP アドレス、サブネットマスクは前述の手順どおりに入力します。
- 11 設定が終了したら [BootP の設定] に戻って、[BootP 要求をログに記録しますか?] チェックボックスを OFF にします。
- 9 [BootP の設定] ダイアログボックスを終了します。
- 10 コンピュータを再起動します。

メモ

BootP Service の設定を変更した場合は、コンピュータを再起動する必要があります。

メモ

MassHunter Workstation と Agilent 7500 ICP-MS を LAN で接続する場合には、Peer to Peer での接続を推奨します。この場合はクロスケーブルを使用します。構内 LAN へ接続する場合にはお客様のネットワーク管理者とご相談ください。この場合、ホスト名・IP アドレス・サブネットマスクなどの設定値は、お客様のネットワーク管理者の指示に従ってください。

プリンタの設定

プリンタのインストール方法についてはプリンタに付属のマニュアルを参照してください。

インストールが終了したら、インストールしたプリンタが通常使うプリンタに設定されているか確認してください。

FlashPlayer のインストール

オンラインヘルプのムービーを見るためには、FlashPlayer が必要です。

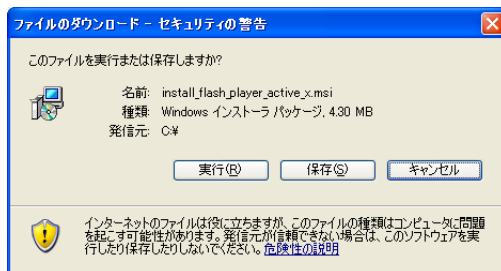
- 1 ICP-MS MassHunter Workstation システムディスクをオプティカルドライブに挿入します。

Internet Explorer が自動的に起動します。[FlashPlayer インストール] をクリックします。



1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

2 **実行** をクリックします。



3 **Install** をクリックします。

FlashPlayer がインストールされます。



MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール手順

メモ

ICP-MS MassHunter Workstation ソフトウェアをインストールする前に、
オペレーティングシステム（OS）
Agilent IO Libraries Suite 15.0
Agilent BootP Service
Internet Explorer 6 Service Pack 1 以降
がインストールされている必要があります。

メモ

MassHunter Workstation ソフトウェアをインストールするハードディスクドライブは、200MB 以上の空き容量が必要です。インストール開始時、指定したドライブの空き容量は自動的にチェックされます。

メモ

MassHunter Workstation のインストールを始める前に、装置が停止モードになっていることを確認します。装置がスタンバイモードの場合は、装置本体カバー裏側にあるシャットダウンスイッチを押して、装置をシャットダウンモードにします（シャットダウンモードになるまで5分程度かかります）。シャットダウンモードになると本体前面のインジケーターが消えます。また MassHunter Workstation を旧バージョンからアップグレードする場合、もしくは再インストール場合は、MassHunter Workstation をアンインストールする前に MassHunter Workstation から装置を停止モードにしてください。
これは、MassHunter Workstation のインストールを行った後で、ファームウェアのダウンロードをするために装置の電源をいったん切る必要があるためです。

1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

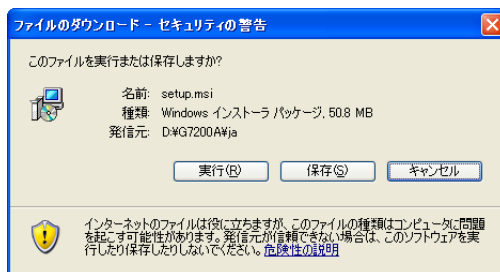
MassHunter Workstation ソフトウェアをインストールするには、次の手順で行います。

- 1 ICP-MS MassHunter Workstation システムディスクをオプティカルドライブに挿入します。

Internet Explorer が自動的に起動します。[ICP-MS MassHunter Workstation インストール] をクリックします。



2 **実行**をクリックします。



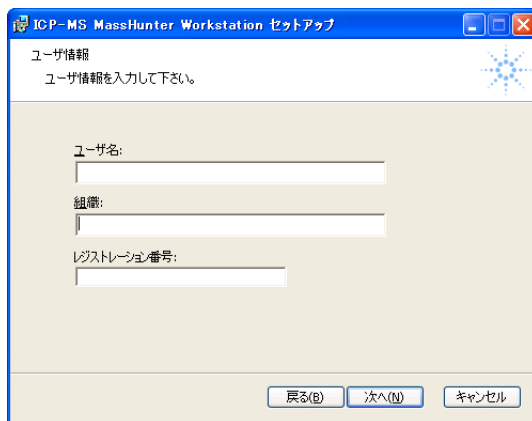
3 **次へ**をクリックします。



1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

- 4 ユーザ名、組織、レジストレーション番号を入力し、**次へ**をクリックします。

レジストレーション番号はレジストレーションパックに記載されています。



ICP-MS MassHunter Workstation セットアップ

ユーザ情報
ユーザ情報を入力して下さい。

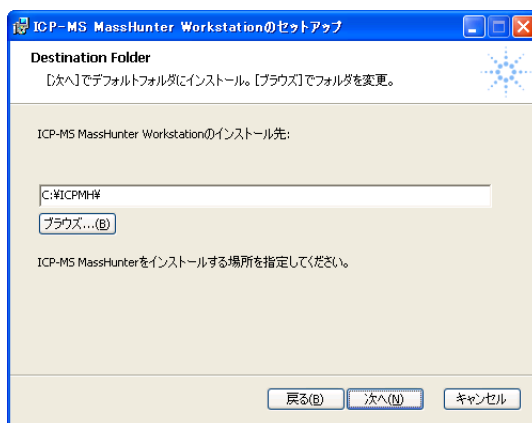
ユーザ名:
[テキスト入力欄]

組織:
[テキスト入力欄]

レジストレーション番号:
[テキスト入力欄]

戻る(B) 次へ(N) キャンセル

- 5 インストール先（通常は初期設定のまま）を選択し、**次へ**をクリックします。



ICP-MS MassHunter Workstationのセットアップ

Destination Folder
[次へ]でデフォルトフォルダにインストール。[ブラウズ]でフォルダを変更。

ICP-MS MassHunter Workstationのインストール先:

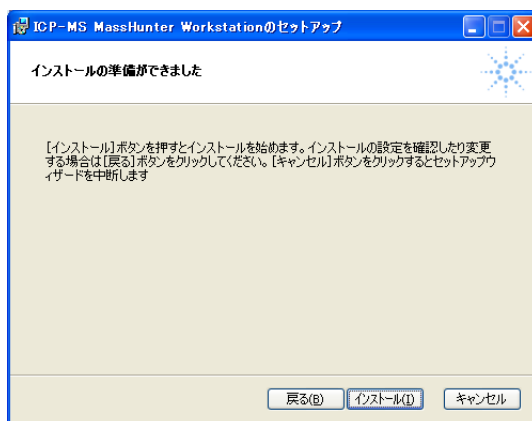
C:\Program Files\Agilent\ICP-MS\MassHunter Workstation

ブラウズ...(B)

ICP-MS MassHunterをインストールする場所を指定してください。

戻る(B) 次へ(N) キャンセル

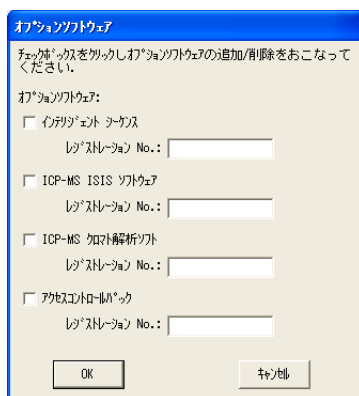
6 [インストールの準備ができました] ダイアログボックスが表示されます。



現在の設定を確認して **インストール** をクリックします。

MassHunter Workstation ソフトウェアとヘルプファイルのインストールが開始されます。

7 インストールが終了すると、[オプションソフトウェア] ダイアログボックスが表示されます。

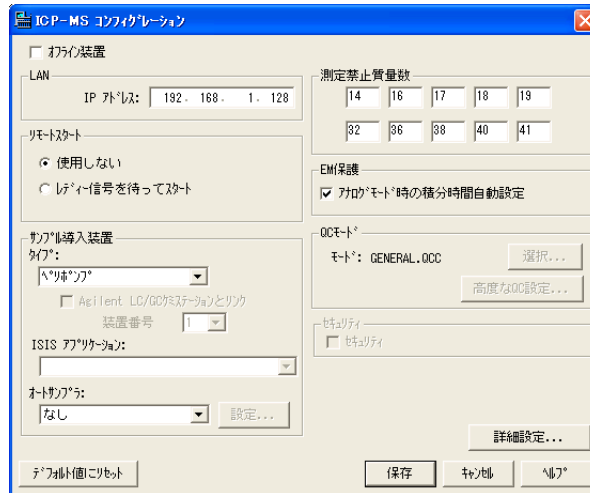


使用するオプションソフトウェアを選択し、レジストレーション No. を入力して **OK** をクリックします。

1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

レジストレーション No. は、レジストレーションパックに記載されています。

- 8 [ICP-MS コンフィグレーション] ダイアログボックス (LAN 接続の場合) が表示されます。



- 9 [LAN] エリアの IP アドレスを設定します。

MassHunter Workstation と Agilent 7500 本体とは、LAN ケーブルで接続されています。

- [LAN] エリアの IP アドレスは、BootP で設定した値と同じにする必要があります。

[オフライン装置] チェックボックスが選択されているときは、[LAN] エリアは選択できません。

- 10 **保存** を選択します。

- 11 工場出荷時のチューニングファイルをインストールする場合は、チューニングファイル CD (またはフロッピーディスク) をドライブに挿入し、**OK** をクリックします。

- 12 ICP-MS をシャットダウンし、PC を再起動するようにメッセージが表示されます。内容を確認して **はい** をクリックします。

メモ

再起動する前に Agilent 7500 本体のシャットダウンを求めるメッセージが表示されます。シャットダウンモードになっていない場合は、本体カバー裏側のシャットダウンスイッチを押して装置をシャットダウンモードにします（シャットダウンモードになるまで5分程度かかります）。シャットダウンモードになると、本体前面のインジケータが消えます。

メモ

PC を再起動する時、Explore を終了できないことを知らせるメッセージが表示されることがあります。その場合はメッセージ内にある **すぐに終了** ボタンをクリックします。

13 ウィザード完了のメッセージが表示されます。コンピュータを再起動します。

14 タスクバーから [スタート] - [すべてのプログラム] - [ICP-MS MassHunter Workstation] - [hosts の編集] を選択して、HOSTS を起動します。BootP Service で設定した Agilent 7500 の [IP アドレス] と [ホスト名] を入力し、上書き保存します。

メモ

すでに書かれている「127.0.0.1 localhost」の設定は、そのまま残しておきます。



15 コンピュータを再起動します。

16 Agilent 7500 の電源を一旦 OFF にします。Agilent 7500 とコンピュータが LAN ケーブルで接続されているのを確認してから、Agilent 7500 の電源を ON にします。

注意

コンピュータを再起動してから、Agilent 7500 の電源を ON にします。

Windows Vista、Windows XP の場合は Windows ファイアウォールの設定が必要です。設定方法については、「[Windows ファイアウォールの設定](#)」(1-59 ページ)をご覧ください。

17 ICP-MS MassHunter Workstation を起動し、ファームウェアをダウンロードします。

[ICP-MS トップ] ウィンドウが表示されると、自動的にファームウェアがダウンロードされます (10 分程度かかります)。

注意

ダウンロード中は MassHunter Workstation を終了したり、他のアプリケーションを起動しないでください。

18 本体をスタンバイモードにします。

ファームウェアのダウンロードを終了した時点では、装置は停止モードになっています。スタンバイモードにするには、[ICP-MS 装置操作] ウィンドウから [真空操作] - [真空ポンプ ON] を選択します。

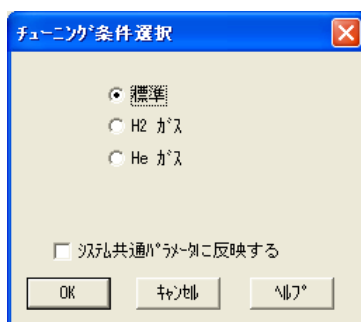
注意

MassHunter Workstation のインストール先ディレクトリとして、空白文字、*.B、*.D、*.M、*.C や半角英数字 8 文字より長い名前ものを指定しないでください。これらのディレクトリにインストールした場合、その中にあるメソッド、データ、データバッチ、検量線の各ファイルを読み込めなくなることがあります。また、必ず第 1 階層目のディレクトリにインストールしてください。これより深い階層にインストールした場合、MassHunter Workstation が正しく動作しないことがあります。

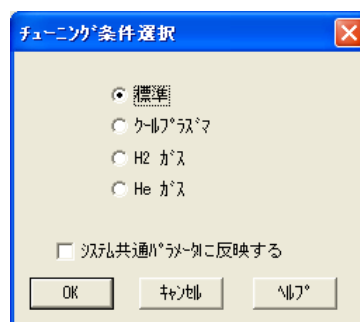
工場出荷時のチューニングファイルに初期化

次の手順で、工場出荷時のチューニングファイルに初期化することができます。

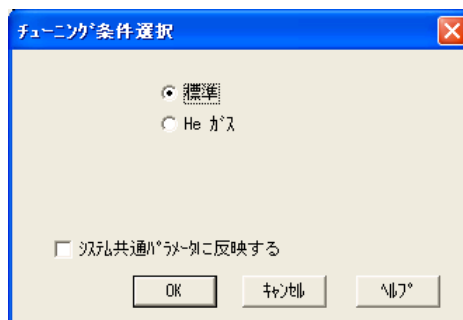
- 1 [ICP-MS トップ] ウィンドウから [装置] - [チューニング...] を選択します。
- 2 [ファイル] - [工場出荷時のパラメータに初期化] を選択します。
ダイアログボックスが表示されるので **OK** を押します。
- 3 [チューニング条件選択] ダイアログボックスが表示されます。



7500ce の場合



7500cs の場合



7500cx の場合

4 工場出荷時の状態に戻すチューニングファイルを選択します。

表示されるチューニングファイルは、装置によって異なります。

- 7500a の場合：表示されません。
- 7500ce の場合：標準、H₂ ガス、He ガス
- 7500cs の場合：標準、クールプラズマ、H₂ ガス、He ガス
- 7500cx の場合：標準、He ガス、H₂ ガス（オプション）

メモ

〔チューニング条件選択〕ダイアログボックスには〔システム共通パラメータに反映する〕チェックボックスがあります。選択すると読み込む条件のチューニングファイルの内容がシステム共通パラメータの数値になります。

5 をクリックします。

工場出荷時のチューニングファイルに初期化されます。

メモ

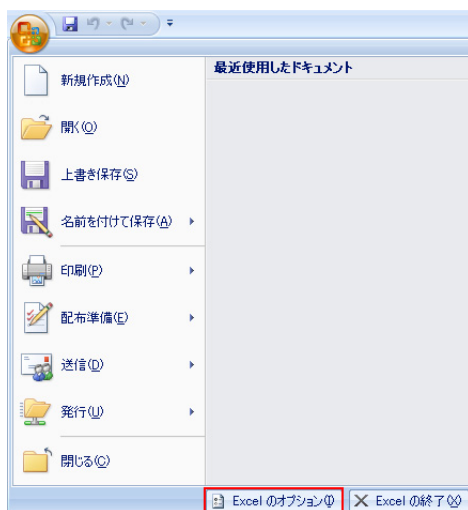
チューニングファイルと装置機種が合っていない場合は、ダイアログボックスが表示されます。

Microsoft Office Excel 2007 アドインの設定

ICP-MS MassHunter Workstation のインストールが終了したら、Microsoft Office Excel 2007 のアドイン設定が必要です。

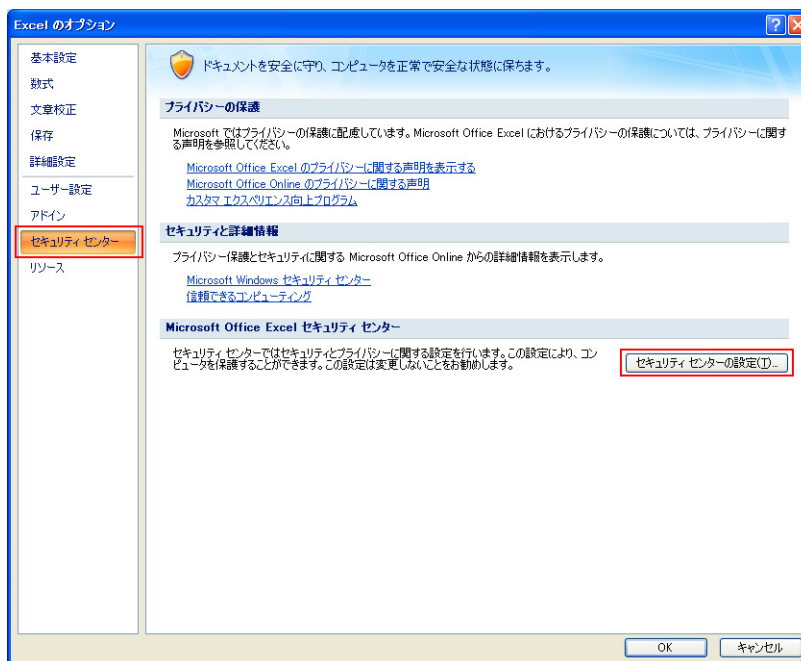
この設定は ICP-MS MassHunter Workstation を利用するすべてのユーザで設定する必要があります。

1 [Office ボタン] - [Excel オプション] を選択します。

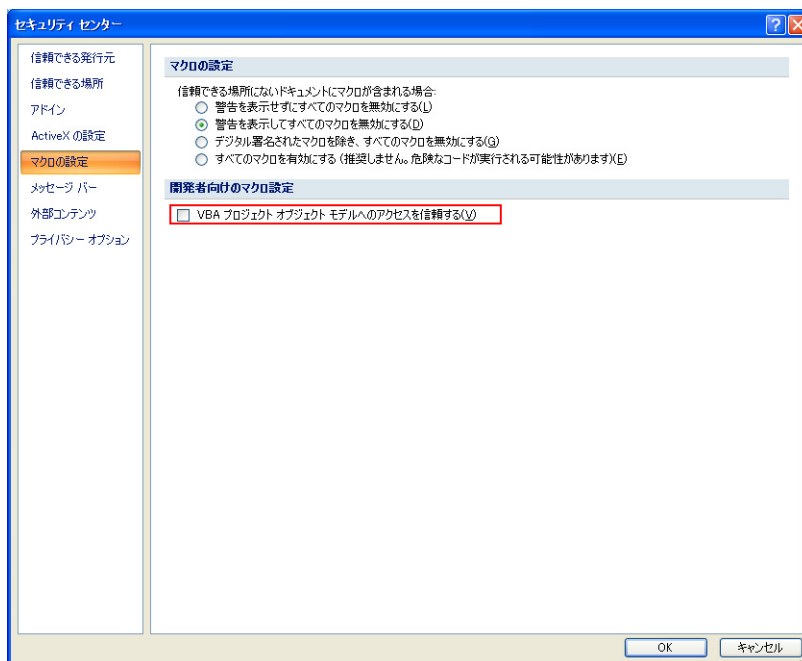


1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

- 2 [Excel のオプション] ダイアログボックスで、[セキュリティセンター] - [セキュリティセンターの設定] ボタンをクリックします。



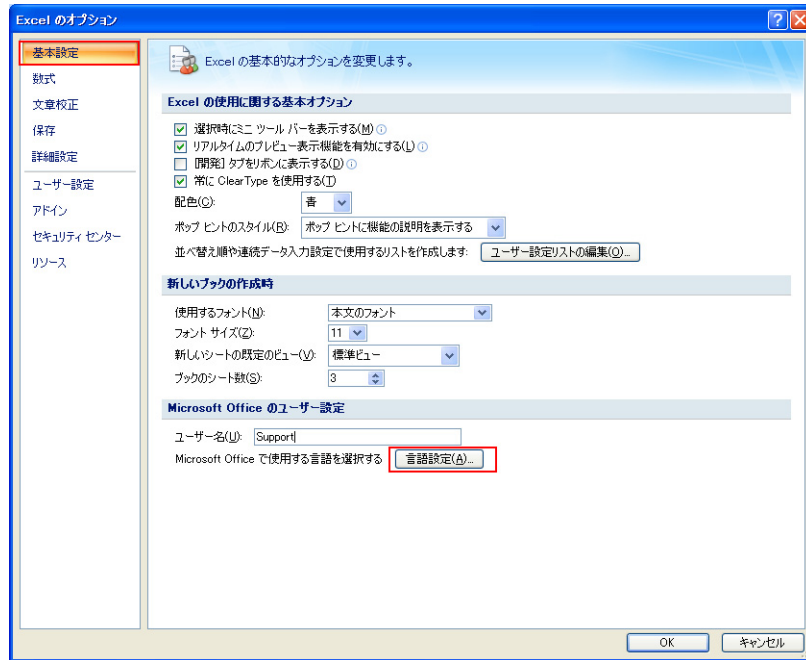
- 3 [VBA プロジェクトオブジェクトモデルへのアクセスを信頼する] にチェックします。



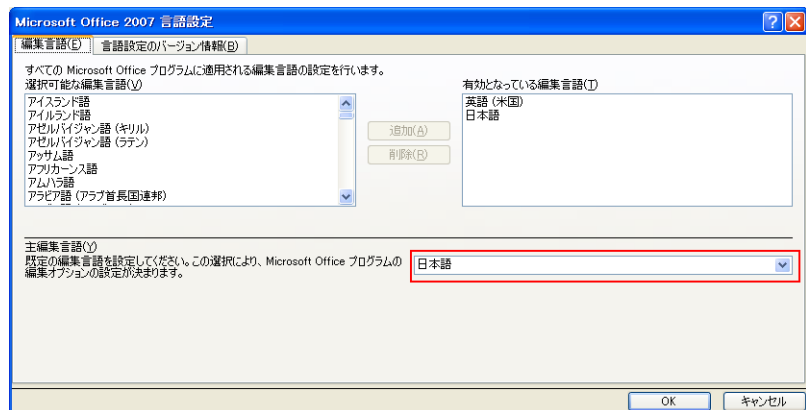
- 4 [OK] をクリックします。

1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

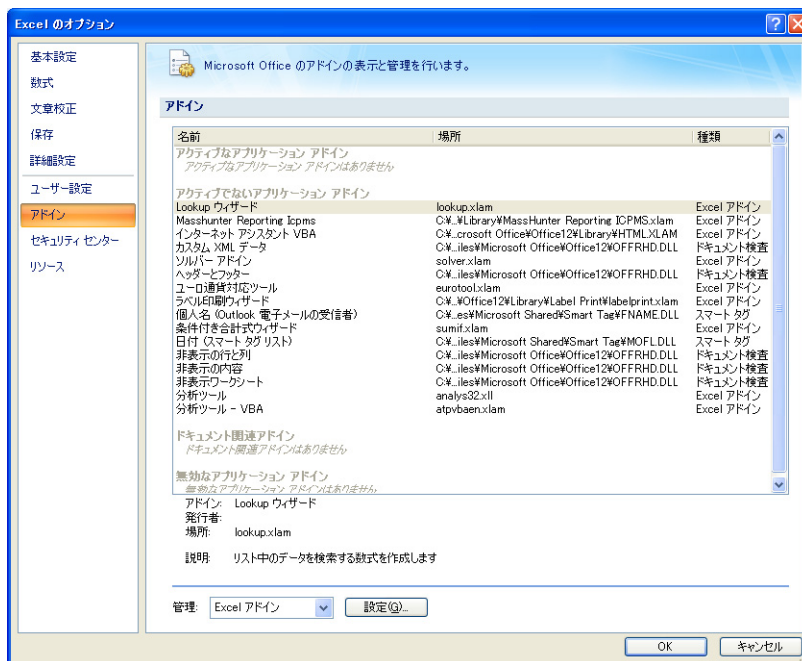
- 5 [エクセルのオプション] ダイアログボックスで [基本設定] - [言語設定] ボタンをクリックします。



- 6 主編集言語が MassHunter Workstation のユーザインタフェースと同じ [日本語] になっているかを確認します。



- 7 **OK** をクリックします。
- 8 **[Excel のオプション]** ダイアログボックスで、**[アドイン]** をクリックします。

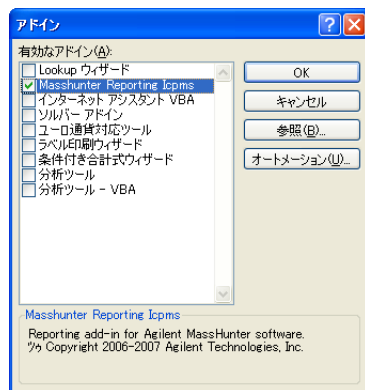


- 9 **[管理]** リストボックスで **[Excel アドイン]** を選択します。

1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

10 [設定] ボタンをクリックします。

[アドイン] ダイアログボックスが表示されます。



11 [MassHunter Reporting Icpms] にチェックします。

12 **OK** をクリックします。

13 Microsoft Office Excel 2007 を再起動します。

Windows ファイアウォールの設定

はじめに

ここでは、ICP-MS MassHunter Workstation ソフトウェアを Windows ファイアウォールがインストールされた PC 上で動作させるために必要な設定について説明します。

この説明に従って Windows ファイアウォールに対して ICP-MS プログラムの通信許可と Bootp Server/Client のポートの通信許可の設定を行ってください。

通信許可するプログラム : icpacq.exe および icptune.exe

通信許可するポート : 67 の TCP/UDP、68 の TCP/UDP

注意

Agilent 7500 が構内 LAN 経由で ICP-MS MassHunter Workstation に接続されている場合は、この設定変更によりネットワーク全体に影響を与える可能性があります。設定変更を行う前にネットワーク管理者にご相談ください。

注意

設定変更は ICP-MS MassHunter Workstation ソフトウェアをインストールした後に行う必要があります。まだ MassHunter Workstation をインストールしていない場合は、先にインストールしてください。

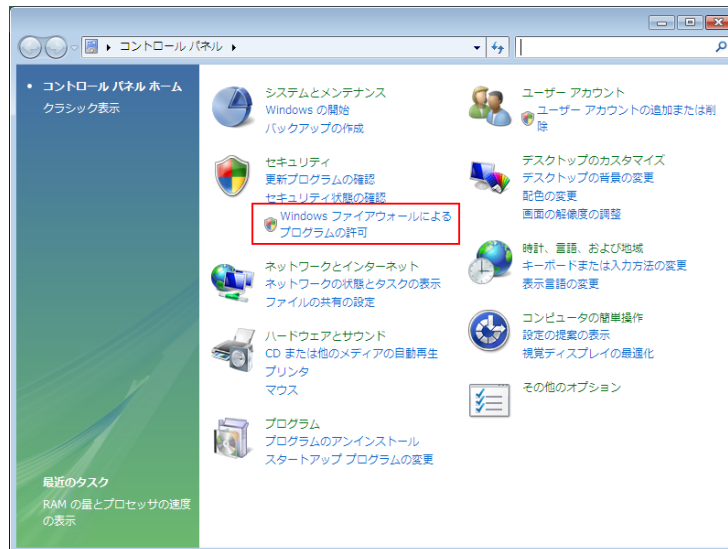
Windows ファイアウォール設定手順

以下の手順に従い、プログラム icpacq.exe および icptune.exe の通信許可とポート 67、68 の通信許可の設定をしてください。設定するポートの詳細は次のとおりです。

名前	ポート番号	TCP / UDP
Bootp Client 68 TCP	68	TCP
Bootp Client 68 UDP	68	UDP
Bootp Server 67 TCP	67	TCP
Bootp Server 67 UDP	67	UDP

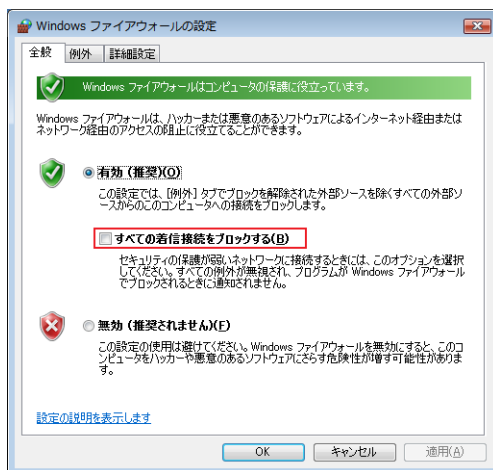
Windows Vista の場合

- 1 Administrator 権限のあるユーザーで Windows にログオンします。
- 2 Windows の [スタート] ボタンからコントロールパネルを開き、[Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] アイコンをダブルクリックします。

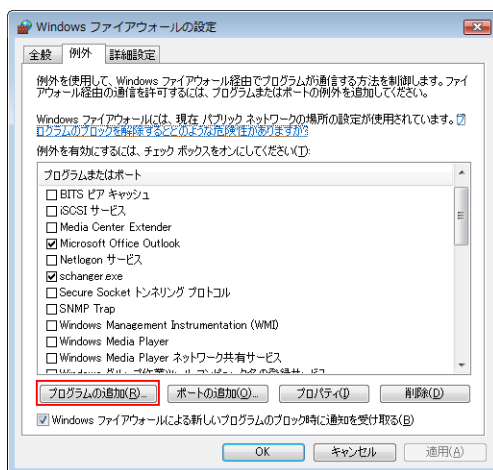


[Windows ファイアウォールの設定] ダイアログボックスが表示されます。

- 3 [全般] タブをクリックし、[有効 (推奨)] を選択し、[すべての着信接続をブロックする] のチェックを外します。



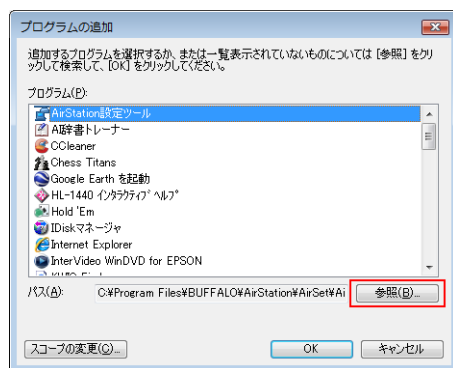
- 4 [例外] タブをクリックし、**プログラムの追加(R)...** をクリックします。



[プログラムの追加] ダイアログボックスが表示されます。

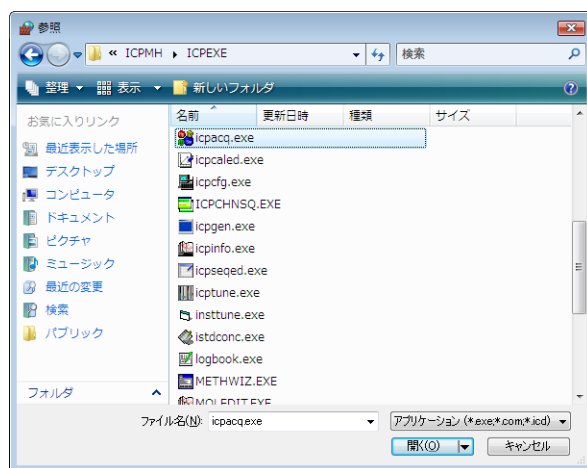
1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

- 5 **参照(B)...** をクリックします。



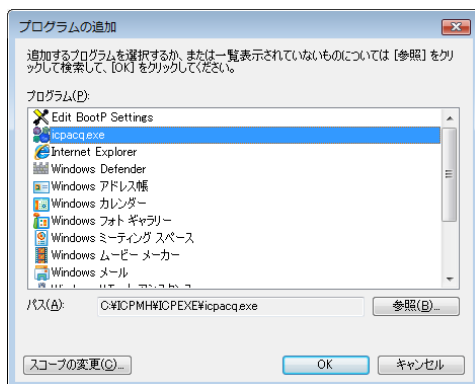
[参照] ダイアログボックスが表示されます。

- 6 左側のリストから [コンピュータ] をクリックします。右側に表示される一覧から [ローカルディスク (C:)] → [ICPMH] → [ICPEXE] → 「icpacq.exe」の順に選択します。下図のとおり「icpacq.exe」が選択されていることを確認し、**開く(O)** をクリックします。MassHunter Workstation がローカルディスク (C:) 以外にインストールされている場合にその場所を指定します。



[プログラムの追加] ダイアログボックスに戻ります。

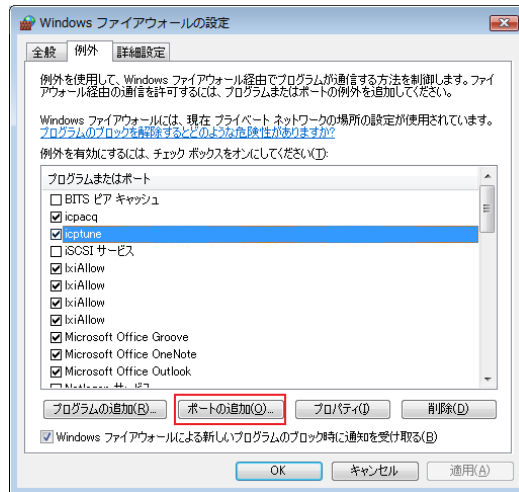
- 7 [プログラムの追加] ダイアログボックスでリストに「icpacq.exe」が追加されていることを確認します。次に、「icpacq.exe」を選択し、**OK**をクリックします。



[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスに戻ります。

- 8 [Windows ファイアウォール] ダイアログボックスで [プログラムおよびサービス] に「icpacq.exe」が追加されていることを確認します。
- 9 上記の手順 4 ～ 8 と同様の手順で、「icptune.exe」も追加します。
- 10 [Windows ファイアウォール] ダイアログボックスで「icpacq.exe」、
「icptune.exe」が追加されていることを確認します。

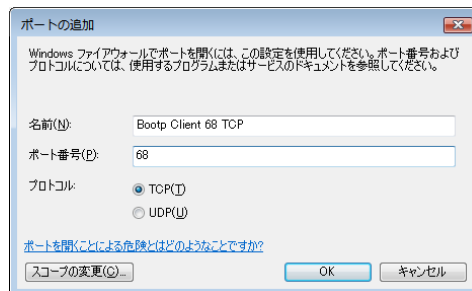
- 11 **ポートの追加(O)...** をクリックします。



[ポートの追加] ダイアログボックスが表示されます。

- 12 以下の項目を設定し、**OK** をクリックします。

- [名前 (N)] : 「Bootp Client 68 TCP」を入力します。
- [ポート番号 (P)] : 「68」を入力します。
- [TCP] または [UDP] をクリックして選択します。ここでは [TCP] を選択します。

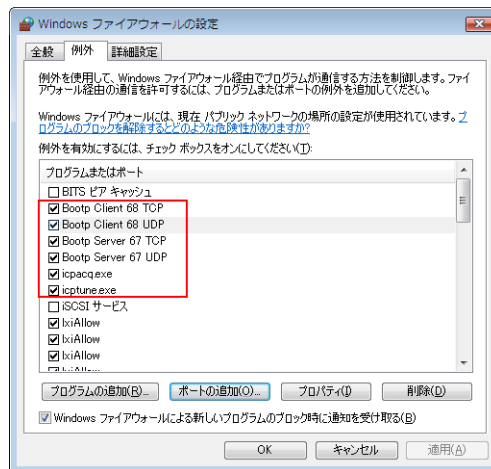


13 上記の手順 11 ～ 12 と同様の手順で、残りの 3 つのポートを追加します。

名前	ポート番号	TCP / UDP	
Bootp Client 68 TCP	68	TCP	設定済み
Bootp Client 68 UDP	68	UDP	追加
Bootp Server 67 TCP	67	TCP	追加
Bootp Server 67 UDP	67	UDP	追加

14 [Windows ファイアウォール] ダイアログボックスで、以下の項目がすべて追加されていることを確認し、**OK** をクリックします。

- Bootp Client 68 TCP
- Bootp Client 68 UDP
- Bootp Server 67 TCP
- Bootp Server 67 UDP
- icpacq.exe
- icptune.exe

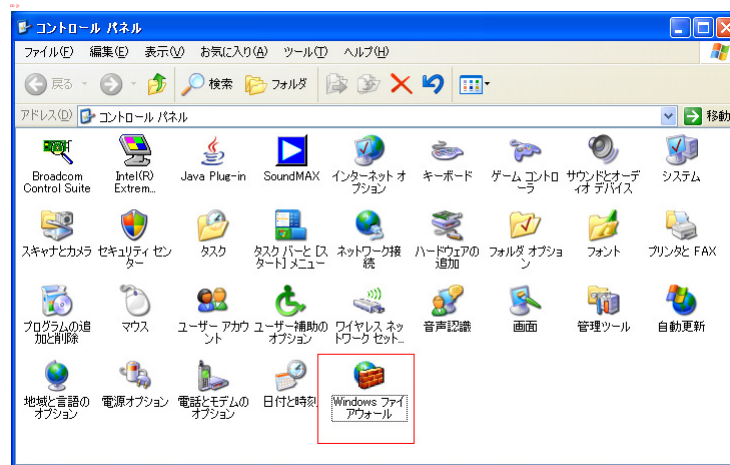


以上で設定は終了です。

15 ICP-MS MassHunter Workstation を起動して、Agilent 7500 と通信ができることを確認します。

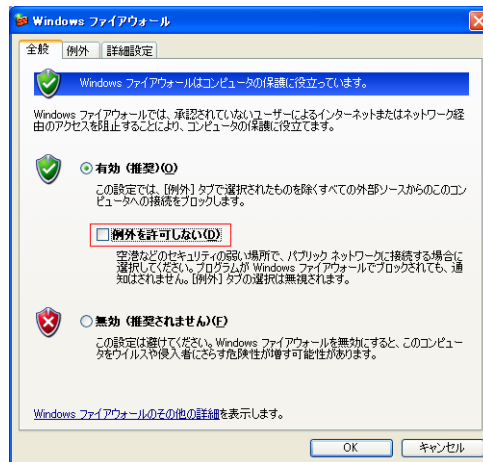
Windows XP の場合

- 1 Administrator 権限のあるユーザーで Windows にログオンします。
- 2 Windows の [スタート] ボタンからコントロールパネルを開き、[Windows ファイアウォール] アイコンをダブルクリックします。

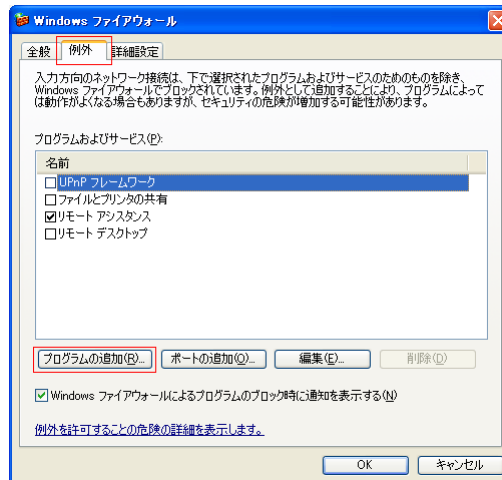


[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスが表示されます。

- 3 [全般] タブをクリックし、[有効 (推奨)] を選択し、[例外を許可しない] のチェックを外します。



4 [例外] タブをクリックし、**プログラムの追加(R)...** をクリックします。



[プログラムの追加] ダイアログボックスが表示されます。

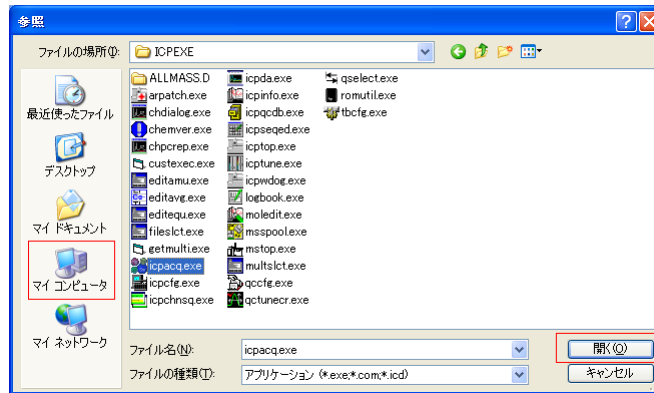
5 **参照(B)...** をクリックします。



[参照] ダイアログボックスが表示されます。

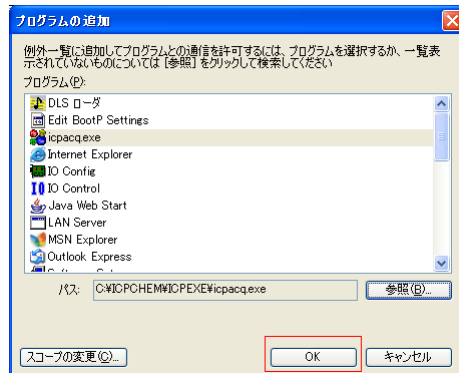
1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

- 6 左側のリストから「マイコンピュータ」をクリックします。右側に表示される一覧から「ローカルディスク (C:)」→「ICPMH」→「ICPEXE」→「icpacq.exe」の順に選択します。下図のとおり「icpacq.exe」が選択されていることを確認し、「開く(O)」をクリックします。MassHunter Workstation がローカルディスク (C:) 以外にインストールされている場合にその場所を指定します。



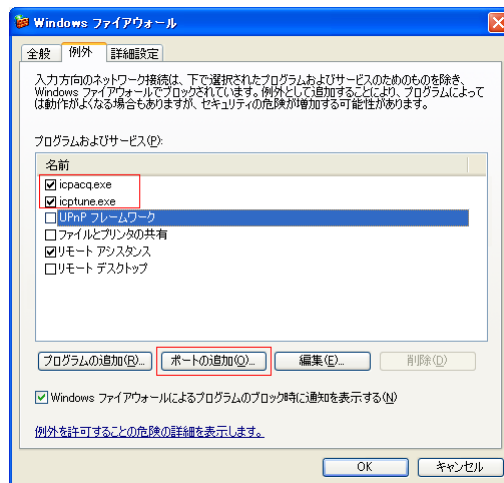
「プログラムの追加」ダイアログボックスに戻ります。

- 7 「プログラムの追加」ダイアログボックスでリストに「icpacq.exe」が追加されていることを確認します。次に、「icpacq.exe」を選択し、「OK」をクリックします。



「Windows ファイアウォール」ダイアログボックスに戻ります。

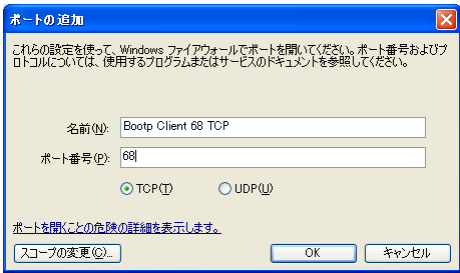
- 8 [Windows ファイアウォール] ダイアログボックスで「プログラムおよびサービス」に「icpacq.exe」が追加されていることを確認します。
- 9 上記の手順 4 ～ 8 と同様の手順で、「icptune.exe」も追加します。
- 10 [Windows ファイアウォール] ダイアログボックスで「icpacq.exe」、「icptune.exe」が追加されていることを確認します。
- 11 **ポートの追加(0)...** をクリックします。



[ポートの追加] ダイアログボックスが表示されます。

12 以下の項目を設定し、**OK** をクリックします。

- [名前 (N)] : 「Bootp Client 68 TCP」 を入力します。
- [ポート番号 (P)] : 「68」 を入力します。
- [TCP] または [UDP] をクリックして選択します。ここでは [TCP] を選択します。

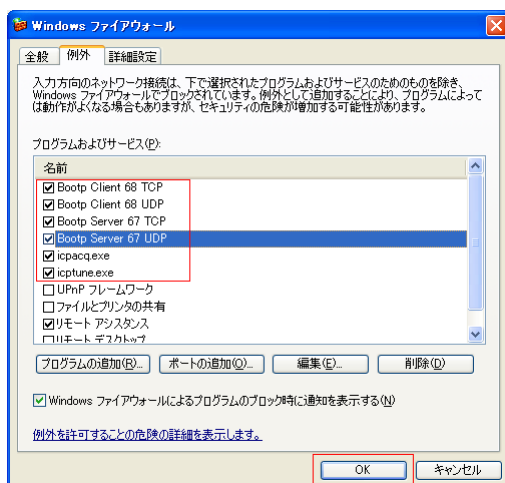


13 上記の手順 11 ～ 12 と同様の手順で、残りの 3 つのポートを追加します。

名前	ポート番号	TCP / UDP	
Bootp Client 68 TCP	68	TCP	設定済み
Bootp Client 68 UDP	68	UDP	追加
Bootp Server 67 TCP	67	TCP	追加
Bootp Server 67 UDP	67	UDP	追加

14 [Windows ファイアウォール] ダイアログボックスで、以下の項目がすべて追加されていることを確認し、**OK** をクリックします。

- Bootp Client 68 TCP
- Bootp Client 68 UDP
- Bootp Server 67 TCP
- Bootp Server 67 UDP
- icpacq.exe
- icptune.exe



以上で設定は終了です。

15 ICP-MS MassHunter Workstation を起動して、Agilent 7500 と通信ができることを確認します。

デモデータについて

インストールディスクにはデモデータが同梱されています。

データ解析ソフトウェアの動作を確認したい場合などにご利用ください。

デモデータはインストールディスクの ¥DemoData フォルダの下に格納されています。

必要に応じて ICP-MS MassHunter Workstation のデータフォルダにコピーしてください。

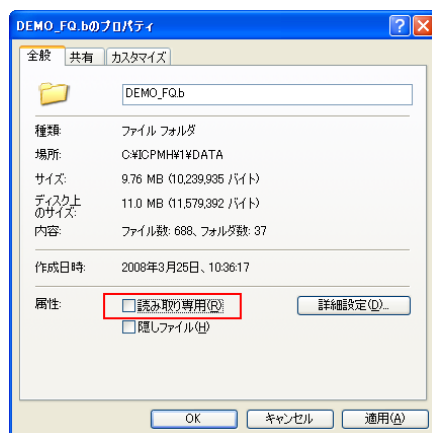
インストールディスクからコピーすると、読み取り専用属性がつきますので解除してください。

読み取り専用属性の解除

- 1 ファイル、フォルダを右クリックしプロパティを選択します。

プロパティダイアログが表示されます。

- 2 属性の読み取り専用のチェックを外します。



Agilent 7500 Series MassHunter Workstation ソフトウェアのアンインストール

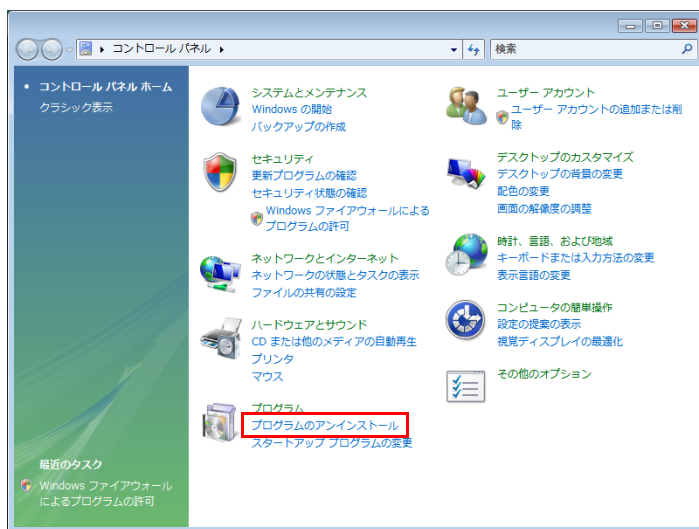
注意

Agilent 7500 Series MassHunter Workstation ソフトウェアをアンインストールする前に、必ず“C:\¥ICPMH”フォルダをバックアップするようにしてください。

Agilent 7500 Series MassHunter Workstation ソフトウェアをアンインストールする前に、必ず Agilent 7500 Series MassHunter Workstation ソフトウェアを終了してください。タスクトレイ内のキュービューアなども忘れずに終了してください。

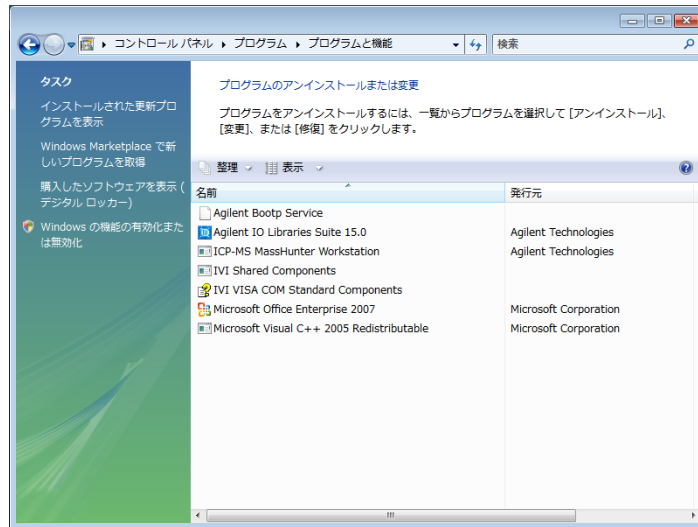
Windows Vista の場合

- 1 スタートメニューのコントロールパネルから「プログラムのアンインストール」を選択します。



1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

2 一覧からプログラムを選択して変更と削除をクリックします。



3 アンインストールが終了したら、“C:\ICPMH” フォルダを削除してください。

Windows XP の場合

- 1 スタートメニューのコントロールパネルから「プログラムの追加と削除」を選択します。
- 2 一覧からプログラムを選択して変更と削除をクリックします。



- 3 アンインストールが終了したら、「C:\ICPMH」フォルダを削除してください。

1 MassHunter Workstation ソフトウェアのインストール

www.agilent.com

本書の概要

このインストールガイド
は、Agilent 7500 Series
ICP-MS MassHunter
Workstation ソフトウェア
のインストールについて説
明しています。

© アジレント・テクノロジー株式会社 2009

2009 年 1 月 Rev. B



G7200-96100



Agilent Technologies